

まちひとしごと

Vol. 39

Otto Uno

オーナーシェフ 駒村 八一 さん

みんなで乗り越えようとする 強い思いと力を感じる



多くの飲食店が軒を連ね、町のにぎわいを支えてきた都通り。その一角にあるイタリア料理店『Otto Uno(オット ウーノ)』のオーナーシェフ駒村八一さんに話を聞いた。

北海道滝川市で生まれ育った駒村さんは、学生時代のアルバイト経験から飲食業に興味を持ち、高校卒業後に札幌や首都圏をはじめイタリアなどで経験を積み、30代後半で北海道へ戻った。

「北海道に戻ってからは、札幌を中心に飲食業に関連する仕事に幅広く携わる機会があり、さらに経験を重ね、人脈も広がりました」

その後2017年に、倶知安町で開業するレストランで飲食業経験者を探していると、知人から声がかかる。

「羊蹄山や尻別川などの自然環境に恵まれた倶知安町は、以前から憧れていた場所で、いつかはこの土地で開業したいとの思いから、挑戦を決意しました」

その約1年後には自らが経営する現在のお店をオープン。今年5月に3年目を迎えた。

「開店当初から、観光客だけを当てるのではなく、地域で暮らす人々の存在を大切にしたいと考えていました。幸いに都通りの周辺で営業する他の飲食店の方々にも支えられ、人が人を呼ぶかたちで、地元の方もお客さんとして来てくれるようになりました」

開店以降、地域のイベントなどへ積極的に参加してきたことも地元のお客さんを獲得した要因のひとつだろう。

しかし今年に入り、誰もが予想しなかった事態に。新型コロナウイルス感染症が世界的に大きな影響を与え、町内の飲食業もまた、大きな打撃を受けている。

「全国的な緊急事態宣言が出される前から、今後予想される事態

に備えることが必要と考え、自ら築いてきた人脈を通じ、既に感染拡大が先行する国内外の飲食店の状況や取り組みについて情報を集め、自分たちは何ができるかを町内の同業者らと話し合いました」

そこで駒村さんらは、外出を自粛する状況になっても、料理の持ち帰りや宅配に対応するなど努力する飲食店と、それらを利用したいと考える消費者をつなげること、多くの人に地元の味で笑顔になつてもらいたいと、SNSを活用した取り組みを始めた。

「この町で頑張る人たちは、みんなで何かやろう。という強い思いと行動力があると感じており、その中で自分がこれまで培ってきたものを生かし行動することが、結果として町への貢献になればと考えています」

駒村さんは、この先状況が少しでも改善した時のための準備も進めたい。と話していた。飲食業に限らず、今は一人一人ができることを考え行動することが大切ではないだろうか。

※まちひとしごとは不定期連載です